

事業番号	14 03 04	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費			担当課	部局	教育委員会事務局
					課・室	高校教育課
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成			実施期間	不明 ~

1 事業の概要

目指す姿	理科教育を通じて科学的な知識、技能及び態度を習得させるとともに工夫創造の能力を養う。また、専門教育により最新の知識を身につけ、産業社会を支える人材を育成する。					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 理科教育設備 平成26年度からの新学習指導要領完全実施に向けて、5か年計画(平成21～25年度)で必要な設備を整備するとともに老朽設備の整備を年3校程度実施している。 産業教育設備 職業科設置校(32校)からは約200点、7億円を超える設備の更新要望が出されているが、平成23年度は23品目(2,096万円)の更新にとどまっている。学習用の電子計算組織は6年リースで整備している。 					
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 県立高等学校の設備整備である 国庫補助(理科教育設備整備費等補助金)を活用する			
事業内容	① 成果目標(H24)					
	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領実施のため必要となる設備の整備(5か年計画)の実施 老朽設備の更新(理科教育設備3校、産業教育設備7校) 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)
	理科教育設備整備	直接	新学習指導要領実施のための設備整備 老朽化した設備の更新4品目(4校)	12,059	7,119	12,111
	産業教育設備整備	直接	設備の修繕 老朽化した設備の更新13品目(13校) 電子計算組織等のリース・運営・維持	262,140	240,703	253,448
	合計			274,199	247,822	265,559

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越	17,555			
	当初予算	289,714	299,143	274,199	265,559
	補正予算	8,998			
	合計(A)	316,267	299,143	274,199	265,559
	国庫支出金	10,434	5,853	5,498	5,524
	県債				
	その他(諸収入)	13,517			
	一般財源	292,316	293,290	268,701	260,035
	決算額(B)	308,340	297,013	247,822	
概算人件費	職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50
	概算人件費(C)	4,159	4,129	4,129	4,129
	概算事業費(B(A)+C)	312,499	301,142	251,951	269,688

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
老朽理科設備の更新	85校	3校	4校	達成	3校
老朽産振設備の更新	32校	7校	13校	達成	4校

目標に対する成果の状況	事業により、老朽理科設備更新を4校、老朽産振設備の更新を13校で実施することができ、期待どおりの成果であった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 設備の老朽化により設備整備のニーズが高まっており、学習環境の向上を図るため老朽設備の更新を継続的に実施していく。